

<第4500回>

目的地：金剛山南尾根（金剛山）

担当者：時本

実施日：2024年6月23日（日）

形式：ポッカ訓練パートI

費用：¥1,780.（難波発着・交通費（往610(南海電鉄) + 往480(南海バス) + 復690(南海電鉄)）

参加者：13名

天気：曇り一時雨

行程：

難波駅(7:35) = (南海電鉄) ⇒ (8:04) 河内長野駅 [集合場所] (8:10) = (南海バス) ⇒ (8:36) 金剛登Y [510m] (8:54) - [千早本道] → (10:18) 金剛山（社務所前） [約1,080m] (10:25) → (11:05) ちはや園地 [約1,020m・昼食] (11:38) → (12:20) 中葛城山 [1,037m] (12:32) → (13:21) 千早峠 [784m] (13:36) → (14:15) 行者杉 (14:46) → (15:38) 西ノ行者 [733m] → (16:42) 紀見峠 [437m] → (17:15) 紀見峠駅 [約220m・解散] = (南海電鉄) ⇒ 難波駅

感想：

前日は雨が降っていなかったのに、ポッカ訓練当日の天気予報は気象庁をはじめ他の予報も「雨ときどき曇り」。降水確率は80%～90%で、朝から夕方まで殆ど雨が降り続く状態でした。前日と入れ替わってくれたら良かったのにと、天気予報をうらめしく思いましたが、雨天でも確実に実施する日帰り例会は、一部例外はあるものの、ほぼポッカ訓練くらいしかない現状を考えると、ポッカ訓練には単に重いザックを持つ以外の役割もあると、存在価値を自分に言い聞かせ気を取り直しました。

ところが、実際に雨に降られた区間は、金剛山社務所前のほんの少し手前～ちはや園地間と、紀見峠駅到着前の少しの間だけでした。もちろん、木の葉からしたたる雨水はこれ以外のところでも降ってきましたが、予報からは考えられないほどの少雨でした。例会担当者としては大変ありがたかったです。

とはいうものの当日、電車やバスで登Yまで移動中、「雨が降っていないですね。いつから降るのでしょうか。」といったことが、参加された方との会話でした。Aさんは登Yで、「雨雲レーダーから見ると、15時頃から雨が降るが、それまでは降らないか、降っても僅か。2週間前の醍醐山例会の時も予想は当たったでしょう。」と力強い予想を言われました。それでもにわかには信じられず、今降っていないだけでもましと思って登Yを出発しました。

例年、雨天等で増水している場合以外はタカハタ谷を経由するコースを進むのですが、例会案内を作成している4月前半の段階で、タカハタ谷コースの登Yに赤いコーンが置かれていて、「この先は・・・(略)・・・危険な状態です。通行はご遠慮ください。」との張り紙も掲出されていたので、ポッカ訓練のコースとしてはふさわしくないと判断し、千早本道を経由することにし、その旨を例会案内に記載しました。

登Y～金剛山社務所間では、五合目の平らな場所を含め3回程度休憩しました。曇天とい

うこともあり、気温は低く、時々快い風が吹いていたので、「涼しくて歩きやすいね。暑かったら大変だったでしょうね。」といった会話が交わされていました。もっとも、ボッカ訓練の目的から考えると、暑い経験も必要かもしれませんが。

「階段がきっちりと整備されている。それも以前に来た時よりも整備が進んでいるみたい。」と参加された方が言うておられたとおり、千早本道は、段差の少ない階段が丁寧に施され、歩きやすかったです。また、最近整備されたのか、またはメンテナンスが行き届いているのか、各階段の端にある木の手前の土がえぐれていて歩きにくいといったことはありませんでした。

前述のとおり、金剛山社務所前のほんの少し手前で雨が降り始めました。私たちは、社務所の手前の屋根のある所で小休止し、ザックカバーをかけたリ傘を出したりカッパを着たりしました。その後、本日最高所の葛木神社に立ち寄り集合写真を撮影しました。現地では細かい雨が降っていて、あとから見ると視界が悪そうな写真となっていました。その後緩やかな下りを経て、ちはや園地に到着しました。

ちはや園地到着は 11:00 過ぎで、昼食には少し早かったのですが、雨を避ける施設は他になく、ここで昼食としました。天気が悪く登山者が少ないことが影響したのか、食事の最初から最後までちはや園地の東屋を私たちが独占できました。食事が終りかけたころ、Tさんからレモンに蜂蜜を入れて凍らせた手作りデザートを振舞っていただきました。運動して暑くなった体に冷たさが、疲労に甘さがよく合いました。この後のことですが、紀見峠駅でIさんからも差入れをいただきました。ありがとうございました。

ちはや園地を出発後、久留野峠までやってくると、標高差約 60m の中葛城山への登りが始まります。やはり皆さん、この峠の手前で逡巡されるようで、一旦止まって上を眺めて・・・・・・気持ちを整えて登り始める、ということになりがちです。今年の夏山でテント泊でトムラウシを目指されるTさんとMさん、同じくテント泊で白根三山を目指されるYさんは、特に重い荷物を持たれていたもので、お疲れさまでした。

ちはや園地を出発する頃には雨は上がっており、木の葉からの雫も中葛城山あたりまで来たら止まっていた。中葛城山では、ずっと以前によく集合写真を撮っていました。その後しばらく中断していたのですが、2020年から再び撮影するようになりました。昨年までは、笹をかき分けて三脚を設置し「中葛城山」の標識に垂直に面するように撮影していましたが、今年は笹を分けて行く気もしないほど密集していて、斜めの登山道に三脚を構え撮影しました。皆さんに撮影方向を説明すると、道を塞ぐことを一瞬気にされた方から、「人が通らないので構わないよね。」と声が挙がりました。確かにすれ違う人は殆どいなかったです。

中葛城山を出発すると、多少のアップダウンがあるものの、基本下りの平坦な区間が多い道が続きます。千早峠まで来るとたくさん歩いたような気になりますが、距離では半分に達していません。もっとも今までの区間に登りがほとんど含まれていますので、所要時間は千早峠で半分以上経過しています。千早峠で休憩した後、神福山の頂上をトラバースし、行者杉に到着しました。ここで恒例のティータイムをしました。昨日の予報では、雨が降っていてティータイムはできないと思っていただけに良かったです。行者杉でもよく集合写真を撮影してきたので、今年も撮影しました。この時は曇天にありがちなモヤが少なく、休憩中に麓の景色が鮮明に見えたため、皆さんから驚きの声が挙がっていました。

その後、西ノ行者を經由して山ノ神までやってくると、紀見峠を經由するルートと紀見峠

を經由せず少しだけですがショートカットをするルートの分岐点があります。金剛山南尾根ボッカ訓練では紀見峠經由のコースが本来のルートなので、今年は「少し遠回りですが」と断りを入れ、紀見峠經由のコースをとりました。遠くから参加されたYさんは、「金剛山南尾根ボッカ訓練に何回か参加したことがあるけど、紀見峠經由は初めて。」と言われており、遠回りして良かったと思いました。紀見峠駅の少し手前から雨が降り始めました。時刻は17:00過ぎだったため、朝のAさんの予想より更に遅れたこととなります。

当日参加された方には、雨天予報にも関わらず参加していただきましてありがとうございました。今回のボッカ訓練が、夏山やそれに続く秋山に行かれる際の体力作りに役立つことを願っています。皆さんが良い山行をされますように！

2013年6月に金剛山ボッカ訓練を初めて担当して以来、途中2年は担当しませんでした。今回で担当10回目を迎えることになりました。一つの例会を随分長く担当してきたものと思います。例会番号が4500番と区切りの良い番号にあたったことも、雨予報の割にほとんど降らなかったことも、10回目の例会担当を祝ってくれているような気がします。今回の金剛山南尾根ボッカ訓練に参加していただいた方にはもちろんのこと、今までに担当してきた金剛山南尾根ボッカ訓練に参加していただいた方にもお礼を申し上げます。ありがとうございました。